

出演者プロフィール

安田 菜々子 (やすだ ななこ) クラリネット

栃木県宇都宮市出身。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学修士課程音楽研究科修了。今までにクラリネットを大野康雄、塚原健司、磯部周平、十亀正司、山本正治、遠藤文江の各氏に師事。在学中、東京藝術大学モーニングコンサートにて芸大フィルハーモニア管弦楽団と協奏曲を共演。2011年、同大学同声会賞受賞、新人演奏会に出演。2017年、弦楽四重奏を招いて初のリサイタルを富山で行い、好評を博す。第17回北陸新人登門コンサート(管弦打楽器部門)に出演。田中祐子指揮、オーケストラ・アンサンブル金沢と協奏曲を共演。MCFオーケストラとちぎ団員。Yoro's Music Factory Yasuda 副代表。現在、桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程2年次在籍中。フリーランスの奏者としてオーケストラや室内楽など幅広く活動する傍ら、北陸を中心に後進の指導にも力を入れている。

柳原 亜弓 (やなぎはら あゆみ) フルーツ

富山県立呉羽高等学校普通科音楽コース卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科フルート専攻卒業。フルートを吉田春代、大久保功治、小泉浩、小泉剛、パウル・マイゼンの各氏に師事。室内楽を岡崎耕治、小畑義昭の各氏に師事。福井県新人演奏会本選出演。旧奏楽堂サンデースペシャルコンサートシリーズ出演。富山県新人演奏会出演、北日本新聞音楽奨励賞受賞。高松市市民文化祭リサイタル出演。東京駅赤煉瓦コンサート「東西の響き」出演。これまでに富山、福井、東京各地でソロリサイタル開催。現在、東京を中心にソロ、室内楽、オーケストラ、録音等の演奏活動を行う。また、親子で楽しむクラシックをテーマに演奏会や楽器体験セミナーなど開催。フルートアンサンブル「舞笛」メンバー。

稲場 一郎 (いなば いちろう) トロンボーン

滑川市出身。県立呉羽高等学校普通科音楽コース卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。高校在学中、富山県青少年音楽コンクール音楽部門最優秀賞受賞。藝大在学中に、東京文化会館推薦音楽会出演。トロンボーンを栗田雅隆、伊藤清に、室内楽を関山幸弘、稲川榮一の各氏に師事。卒業後、フリーランスのトロンボーン奏者として、オーケストラの客演、室内楽、スタジオ録音など幅広く活動。'96年渡独。ケルン音楽大学アーヘン校に入学。バロックトロンボーンも含め研鑽を積む。在学中、トロンボーンをハリー・リースに室内楽をビム・ベクー、ポール・ブランケットの各氏に師事。2000年同校卒業後、帰国。洗足学園魚津短期大学講師を経て、現在、県立呉羽高等学校教諭。東京藝術大学音楽学部同声会富山支部支部長。富山県オーケストラ連盟常任理事。(一社)富山県芸術文化協会平成27年度奨励賞受賞。

廣瀬 大悟 (ひろせ だいち) トロンボーン

滑川市出身。県立呉羽高等学校普通科音楽コース卒業。洗足学園魚津短期大学を経て2001年、東京藝術大学音楽学部卒業。国内のオーケストラのエキストラ奏者を務めるほか、トロンボーンカルテット・クワールの室内楽グループのメンバーとして、全国各地で演奏。「クラシックの壺」総合副プロデューサー、FMとやま「レクサス富山 AMAZING CLASSIC」パーソナリティ、富山市民プラザ主催「クラシック」逆引き「音楽事典」講師、同「音符のおしゃべり」プロデューサーなど、幅広いフィールドで活動を行っている。ソリストとして、竹本泰蔵指揮東京校成ウィンドオーケストラと共演。(一社)富山県芸術文化協会平成27年度奨励賞受賞。小松市立高等学校芸術コース非常勤講師。

山元 三奈 (やまもと みな) ソプラノ

富山県立呉羽高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科1年在学中。第32回・33回・34回富山県青少年音楽コンクール声楽部門最優秀賞受賞及び第34回青少年音楽大賞受賞。第16回 大阪国際音楽コンクール Age+H 声楽部門 第2位(1位該当者なし)。第25回 日本クラシック音楽コンクール高校女子の部 第4位。第8回 東京国際声楽コンクール高校生の部 第1位及び東京新聞社賞受賞。第19回 日本演奏家コンクール 高校生の部 第1位及びハンナ賞受賞。第71回 全日本学生音楽コンクール高校生の部 大阪大会 第1位。富山県 優秀芸術文化賞を3年連続受賞。富山県教育功労賞受賞。黒崎隆憲・佐々木典子各氏に師事。

渡辺 洋輔 (わたなべ ようすけ) バリトン

呉羽高校音楽コース、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を黒崎隆憲、長谷川順、牧野正人、千代崎元昭の各氏に師事。ピアノを野上真理子、山崎道子、平井丈二郎の各氏に師事。これまでにオペラには「カルメン」エスカミリオ、「アツティラ」エツィオ、「魔笛」パバゲーノ・弁者、「フィガロの結婚」アルマヴィヴァ伯爵、「こうもり」ファルコ、「ジャンニ・スキッキ」ベッテなど多数出演。他にも第九や宗教曲、合唱曲のソリストを務める。富山県オペラ協会芸術会員。第26回富山県新人演奏会北日本新聞社賞受賞・富山県知事賞受賞、平成29年度富山県芸術文化協会奨励賞受賞。高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所准教授。

加藤 恵 (かとう めぐみ) ソプラノ

富山県立呉羽高校卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学別科声楽専攻修了。オペラではこれまでに『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『フィガロの結婚』スザンナ、『魔笛』パバゲーナ、夜の女王、『コジ・ファン・トゥッテ』デスビーナ、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル役等で出演。平成27年度富山県芸術文化協会奨励賞を受賞。これまでに関 定子、鈴木寛一、大島洋子、松本美和子、黒崎隆憲、小松由美子の各氏に師事。富山県オペラ協会芸術会員、富山県音楽協会会員。

横内 桂子 (よこうち けいこ) ソプラノ

富山県立呉羽高校音楽コース卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。平成9年富山県青少年音楽コンクール最優秀賞受賞。平成15年富山県新人音楽コンクール新人賞、富山県知事賞受賞。第23回ソレユ新人オーディション合格。平成20年東京フィルハーモニー交響楽団と共演し、松村禎三作曲〜ソプラノ、打楽器と11人の奏者のための「阿知知」を歌い好評を得る。平成21年イタリアにてマスタークラスを受講。イタリア政府認定終了証明書を取得。平成19年、22年に富山・東京でジョイントリサイタルを開催。平成23年富山県オペラ協会第2回オペラ公演、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル役にて出演。トヤマパフォーミングアーツフェスティバル2018「北風と太陽」北風役。声楽を黒崎隆憲、高橋大海、嶺貞子、牧野美紀子、島崎智子に師事。日本声楽家協会研究員。日本声楽アカデミー、富山県音楽協会、富山県声楽家協会、富山県オペラ協会会員。富山県立呉羽高等学校音楽コース非常勤講師。

北川 綾乃 (きたがわ あやの) 箏・地歌三絃

富山県南砺市出身。幼少より箏・三絃を正派邦楽会大師範北川雅楽敏に習う。平成26年東京藝術大学卒業後、同大学院音楽研究科邦楽専攻修了。在籍中に箏を深海さとみ師、三絃を富山清琴師、上條妙子師に師事。修士論文では「松竹梅」根曳の松の比較研究」をテーマに二曲の作曲者三ツ橋勾当について研究する。現在、主に富山・東京を拠点にイギリス・中国・タイなど海外でも活動している。箏・三絃曲の節の面白みや言葉の美しさに強く惹かれ、古典を追究する一方で作曲家との演奏活動を積極的に行う。第19回全国高校生邦楽コンクール2位。平成24年社団法人富山芸術文化協会奨励賞受賞。平成27年 舞/振付/演出森山開次、作曲/音楽監修笠松泰洋「YUMEJI」にて箏演奏。平成28年以降、舟木一夫、由紀さおり、福田こうへい主演の劇音楽等に参加。平成29年利根英法記念邦楽コンクール奨励賞(3位相当)。生田流箏曲正派邦楽会師範(北川雅楽乃)。日本三曲協会、同声会、森の会会員。

黒川 真理 (くろかわ まり) 箏曲

東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲専攻卒業。同大学院修士課程音楽研究科修了。NHK邦楽技能者育成会卒業。NHK邦楽オーディション合格。文化庁新進芸術家国内研修員として人間国宝・故藤井久仁江師に九州系地歌を師事。平成13年から富山大学教育学部音楽科非常勤講師に就任(平成20年迄)。平成14年に黒川邦楽院を設立し、学院長を務める。平成17年日本EJ富山舞台芸術代表団員としてチェコ国立劇場にて「箏と舞による幻想曲『紅葉狩り』」を作曲及び公演。平成18年度「北日本新聞芸術選奨」受賞。平成19年度富山県ひとづくり財団より「とやま賞」受賞。平成20年第14回長谷校校記念くまもと全国邦楽コンクール「最優秀賞・文部科学大臣奨励賞」受賞。富山県部門功労「文化分野」表彰。(財)日本伝統文化財団主催第8回邦楽技能者新人オーディション合格し、ピクチャーよりCD発売。平成16年に「黒川真理 箏・三絃リサイタル」開催。以後、毎年富山

と東京にてリサイタルを開催し、平成17、18、23、26年度には文化庁芸術祭参加公演となる。2006年国立劇場主催「明日を担う新進の舞踊・邦楽鑑賞会」に出演。NHKエテレ芸能花舞台「今輝く若手たち」に出演。平成19年とやま舞台芸術祭にて「たゆたいて風の蝶」作曲及び公演。「モノコ世界演劇祭」ガルニ工国立劇場にて再演。平成23年ベルギーのヘント国立劇場で公演。平成23年度国際交流基金海外公演助成事業フィンランド公演。NHKエテレ「にっぽんの芸能」に出演。平成24年大塚教室を開設。平成25年「第17回とやま国際草の根交流」表彰。平成26年6月文化庁芸術文化振興基金助成事業として、N響コンサートマスター堀正文氏をを迎え「黒川邦楽院10周年記念箏曲演奏会」を開催。また、にっぽんの芸能のテーマソングをはじめ、スタジオミュージシャンとしても、様々なジャンルの音楽制作に参加。その他、ハンガリー、チェコ、イタリア、韓国など海外公演多数。現在、深海さとみ師に箏・三絃を師事。生田流箏曲正派邦楽会大師範(雅号 雅雛)。

安念 千重子 (あんねん ちえこ) アルト

富山県砺波市出身。東京藝術大学声楽科卒業。柴田陸、戸田敏子、佐々木成子の諸氏に師事。1960年新人演奏会、'60年ジョイントリサイタル、その後NHKテレビ、ラジオをはじめ全国各地での演奏会で活躍。'73年からオペラ活動に入り、「カルメン」のタイトルロールをはじめ「蝶々夫人」「アイダ」「フィガロの結婚」「椿姫」「セヴィリアの理髪師」「外套」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「ウィリアム・テル」「ウインザーの陽気な女房たち」等々出演。邦人作品では「黒船」「死神」「虎月伝」「葵の上」「香妃」「ちゃんちき」「黄金の国」「天守物語」の祝いの歌の流れる夜に「聴耳頭巾」「御柱」など多数。二期会、藤原歌劇団、長門美保歌劇団、日本オペラ協会、東京オペラプロデュース、藤沢市民オペラ、横浜シテオペラ、他の公演に参加するなど、活躍の場は広く、音質の豊かさや安定した歌唱力、演技力には定評がある。一方、ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」、ヴェルディ「レクイエム」、マラー「復活」「大地の歌」などオーケストラとの協演やリートの分野でもNHK・FM放送やリサイタル、各地でのコンサートに出演。昭和54年・第7回ジローオペラ賞。平成8年・北日本新聞文化賞。同じく富山県功労賞受賞。現在、日本演奏連盟会員。二期会会員。富山県オペラ協会会長。またこれまでに、横浜シテオペラ副代表、運営委員をへて、現在顧問。富山県芸術文化協会理事・副会長を経て、現在参謀。また、横浜芸術文化協会・常任幹事、砺波市音楽顧問等として地域の文化活動にも積極的に取り組んできた。○横浜国立大学教育学部 非常勤講師として(1987〜1998 まで12年間) ○洗足学園大学、短期大学 非常勤講師として(1984〜2006まで23年間) 富山県オペラ協会会長として、「フィガロの結婚」「ヘンゼルとグレーテル」「魔笛」「笠地蔵」「こうもり」などオペラ制作に情熱を注ぐ。

賛助出演

廣瀬 鏡絵 (ひろせ あきえ) ピアノ

東京都出身。滑川市在住。東京都立芸術高等科卒業。洗足学園魚津短期大学を首席で卒業。同研究科を首席で修了。ピアノを白澤暁子、加藤徹氏に師事。現在、ヤマハ音楽教育システム講師として後進の指導にあたる他、富山県を中心としてリサイタルピアノリストなど、各方面で演奏活動をしている。

相山 知範 (あいやま ともり) ピアノ

富山県立呉羽高等学校普通科音楽コース、愛知県立芸術大学音楽学部音楽学科器楽専攻(ピアノ)卒業。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科修士課程器楽専攻有鍵盤器修了。第17回富山県青少年音楽コンクール大賞、並びに北日本新聞社賞、富山県知事賞、福井音楽賞を受賞。第23回富山県新人演奏会北日本新聞音楽奨励賞、並びに県知事賞受賞。これまでに、山崎道子、森早苗、椋木裕子、永岡信幸、エレーナ・アッシュケナー、遠藤裕子の各氏に師事。

新村 真理 (しんむら まり) ピアノ

富山市出身。フリーランスのピアニストとして小児歯科サロンの、ホテル等で演奏や伴奏を行う。富山少年少女合唱団、合唱団「楽音樹」専属ピアニスト。今年には宇奈月ホール音楽祭「魔笛」のコレパティを担当した。クラシックを大場恵美、加藤徹の各氏に師事。ジャズを納谷嘉彦、松浦有里の各氏に師事。

